

A DEAN MESSAGE
学部長メッセージコロナ禍での就職活動
～変容した世界でも、
出会い、学び、成長するために～

法学部長 鈴木 淳一

SUZUKI Junichi
修士(法学) 筑波大学

- 専門
国際法(国際公法)
- 担当科目
国際法
国際人道法
国際組織法

はじめに

新型コロナウイルスは私たちの大学生活を一変させてしまいました。遠隔授業で学ぶことはこれまでの学習とは異なる新しい挑戦であり、慣れない授業に苦勞された方も多かったことでしょう。私たちは新しい時代に対応することを余儀なくされており、今回お話しする就職活動(以下「就活」)においても、厳しい状況に直面する可能性もあります。その際に過度に不安に感じることがないように、大学での「学問(Wissenschaft)」を通じて、1年生のうちから就活の準備を一緒にしてゆくための「コツ」をお伝えします。

就活で「あなたの魅力」を知ってもらうために

「コロナ禍によって変容した世界では、

人々が直接に出会う機会が減ってきています。多くの企業がリモートワークを採用し、採用活動も遠隔で行うことが多くなってきました。人との出会いが困難となっているので、逆に人となることができ、機会が貴重となっています。

獨大生のよいところは真面目に「コツ」で勉強ができることです。では、真面目できちんとしていることを含めて、自分が持っている能力や魅力を遠隔で理解してもらうためにはどうしたらよいのでしょうか。

遠隔授業を通じて皆さんは様々なスキルを身につけてきました。なかでも遠隔授業で培った「読む力」と「書く力」は、皆さんを生涯支える財産の一つとなるはずです。それだけではなく大学の成績は、皆さんの

能力や努力の証明でもあるため、就職や留学にあたって評価されることもあります。

また法学検定、宅建、行政書士、司法書士、簿記会計、公認会計士などの資格試験や公務員試験も、学力を確認するためのわかりやすい指標です。大学の講義を利用しつつ、これらの試験の合格を目指しましょう。

さらに、英語をはじめとした語学の資格を取得しましょう。法学部や経済学部出身者も「語学の獨協」の学生として語学力を期待されることがあります。今後は遠隔技術を利用した外国との交流が一層加速することが予想されます。遠隔であっても外国語で交渉できることは、皆さんの価値を高めるでしょう。たとえ語学が苦手な人でも、語学への学習態度を通じて、困難な事態に直面した時に皆さんが物事に挑戦する姿勢をアピールすることができます。

コロナ禍で出会いが難しいにもかかわらず、就活では「出会い、学び、成長する」というストーリーが求められる

就職までの道のりから逆算すれば、大学の4年間は短いです。この数年の傾向として、3年生の夏休みに実施されるインターンシップは、採用に直結することがあります。大学のカリキュラムは3年生から本格的に専門科目が始まることが多いにもかかわらず、3年生までの学びと活動を通じて、皆さん自身の魅力や実力を示すことが必要となります。満足のいく就活ができた先輩の中には、1年生の時から準備して、自分の魅力をアピールできるストーリー作りをしていた人もいます。

大学での勉強に加えて、たとえば学内外のサークル、コンテスト、アルバイト、留学、ボランティア、インターンシップ等にチャレンジして、あなただけの有意義な大学生生活を過ごすことができれば、自然と皆さんの実力や可能性を示せるようになるでしょう。たとえ遠隔であっても、新しい人との出会いは皆さんに刺激とエネルギーを与えてくれることでしょう。

就活の観点からすれば「コロナ禍でも、出会い、学び、成長できる」というストーリーとして大学生活を描けることが大切です。

投資としての

「未来への準備のための時間のすすめ」

大学生活では「大学での学びのための時間」と「未来への準備」のための時間の両立が大切です。大学の勉強をしながら、サークルやアルバイト、資格試験や公務員試験の勉強など、未来への準備のための活動をバランスよく行うことが必要となります。

もちろん大学での「学問」は就活のためだけにあるわけではありません。ただ、就活を見据えて様々な挑戦をすることは、世界や社会への興味を喚起し、人生や大学での学びの意味、モチベーション、インセンティブを与えてくれるでしょう。

皆さんの挑戦を応援するために、大学にはキャリアセンター等の様々なサービスがあります。大学での「学問」を活用することで、皆さんの就活体験が、出会いと成長の貴重な機会となることを期待します。